



合法的傍受コマンド

ここでは、合法的傍受（LI）を設定するために使用される Cisco IOS XR ソフトウェア コマンドについて説明します。

キーチェーン管理の概念、設定作業、および例の詳細については、「*Implementing Lawful Intercept on Cisco ASR 9000 Series Router Software*」設定モジュールを参照してください。

- [lawful-intercept disable, 2 ページ](#)

lawful-intercept disable

合法的傍受機能をディセーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **lawful-intercept disable** コマンドを使用します。合法的傍受機能を再度イネーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

lawful-intercept disable

no lawful-intercept disable

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

合法的傍受機能はデフォルトでイネーブルです。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 4.1.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

合法的傍受をディセーブルにすると、すべてのメディアエーションデバイスおよび関連する TAP が削除されます。

タスク ID

タスク ID	操作
li	read, write

例

次に、**lawful-intercept disable** コマンドの使用例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# lawful-intercept disable
```